

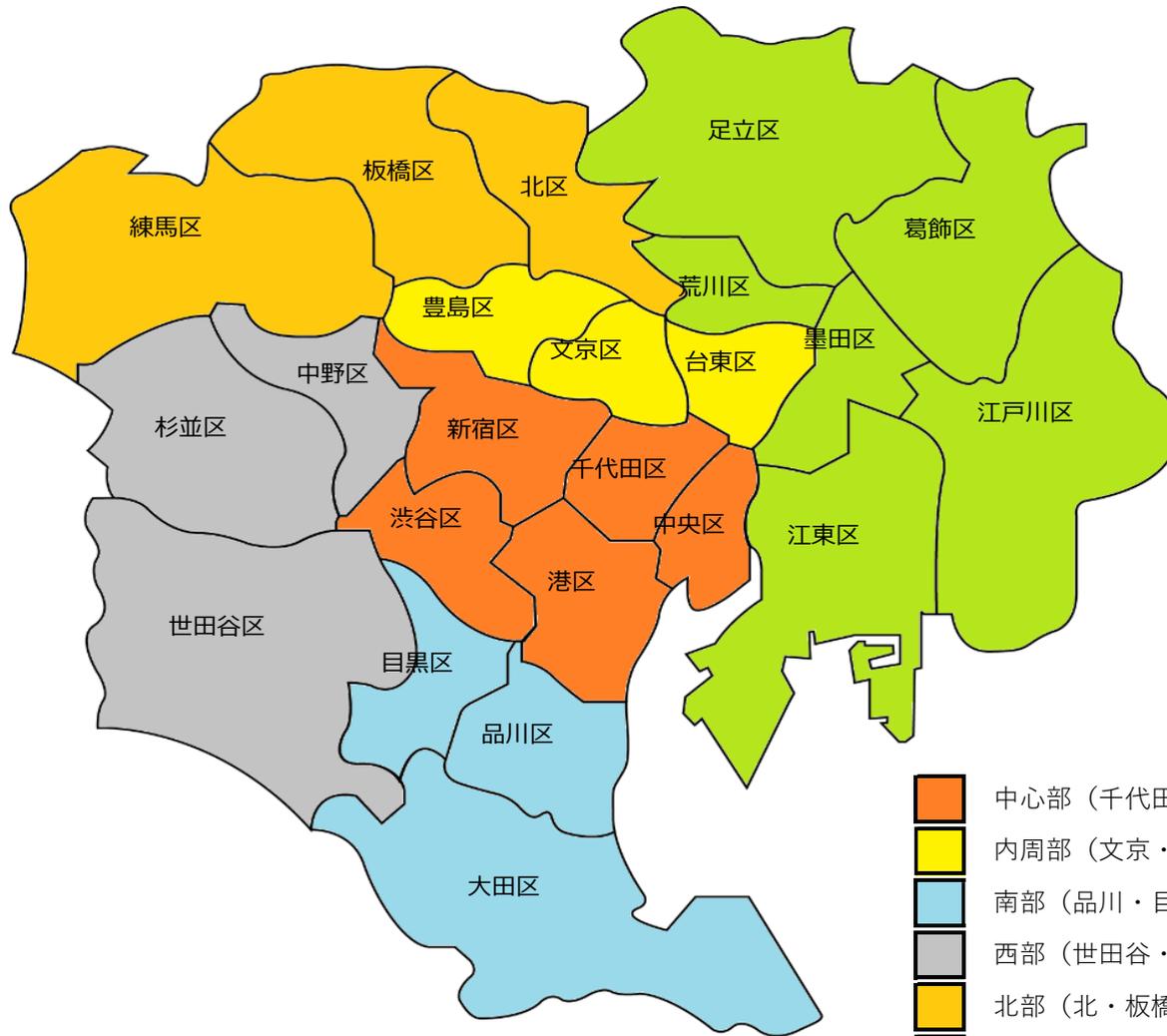
地方税における資産課税のあり方に関する調査研究委員会（第2回）

東京都における負担水準の現状について

令和7年7月24日（木）

東京都

東京23区の地域分布



- 中心部 (千代田区・中央区・港区・新宿区・渋谷区)
- 内周部 (文京・台東・豊島)
- 南部 (品川・目黒・大田)
- 西部 (世田谷・中野・杉並)
- 北部 (北・板橋・練馬)
- 東部 (墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川)

【当年度／当年度】商業地等における負担水準の割合の推移

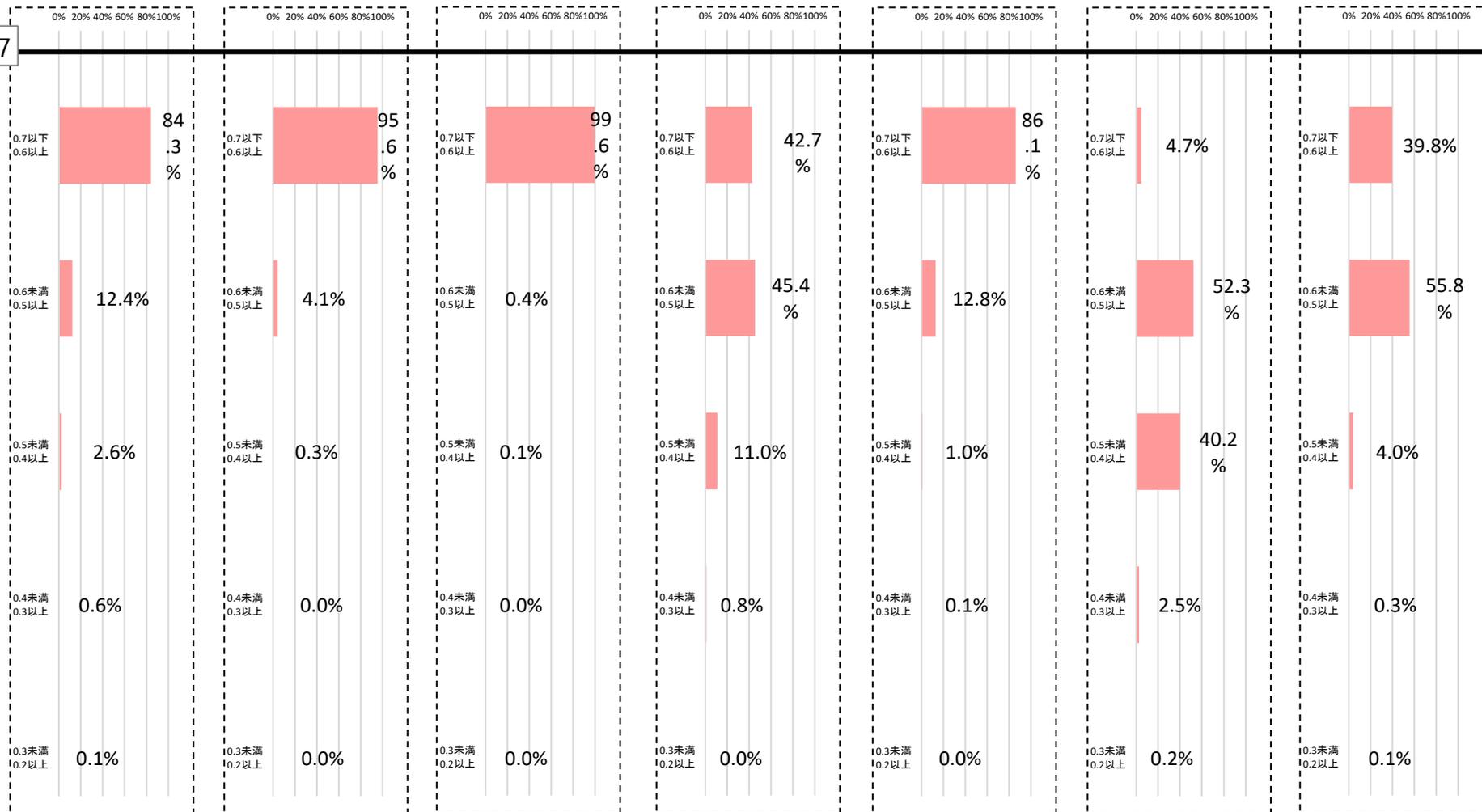
<課税ベース>

課税標準額の上限

(負担水準)

0.7

据置特例



平成18年度
基準年度

平成27年度
基準年度

平成29年度
第三年度

平成30年度
基準年度

令和2年度
第三年度

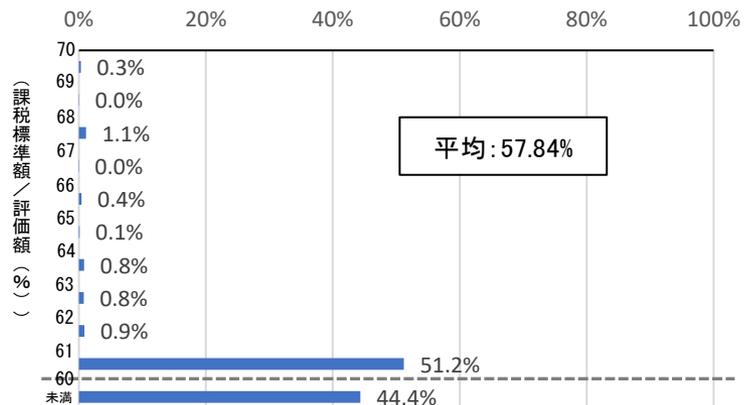
令和3年度
基準年度

令和5年度
第三年度

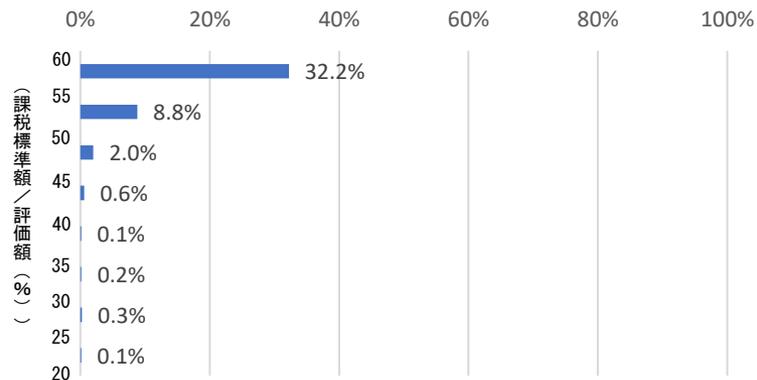
※1 当年度課税標準額/当該年度評価額を表側にとり、各区分ごとの課税標準額の合計が課税標準額の総計に占める割合(%)を示したものである。
 ※2 各年度の評価額、課税標準額については、「固定資産の価格等の概要調査」による(法定免税点以上)。
 ※3 区分ごとに四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

商業地等における負担水準の分布状況(令和6年度)①

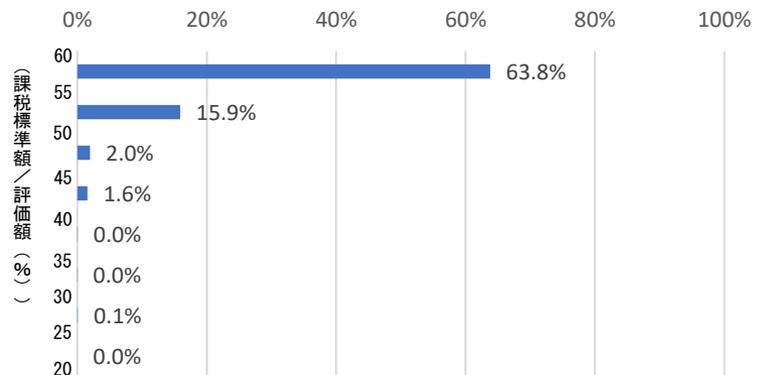
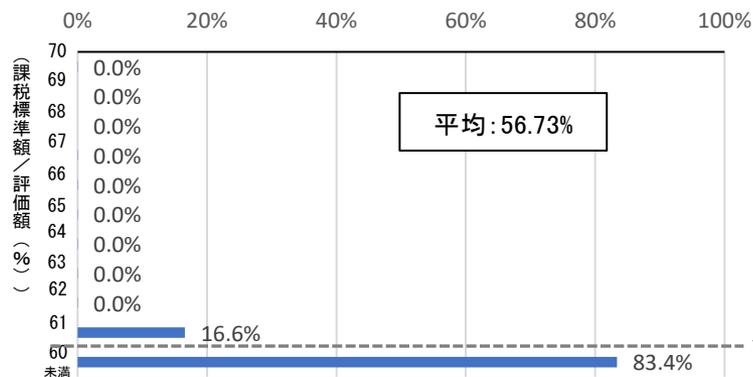
千・中・港・新・浜
中心部



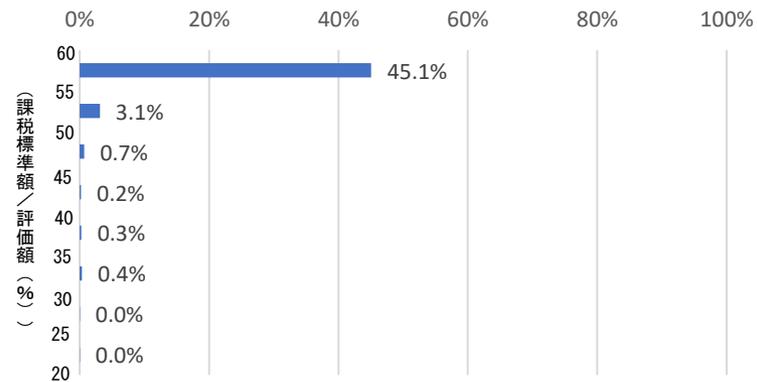
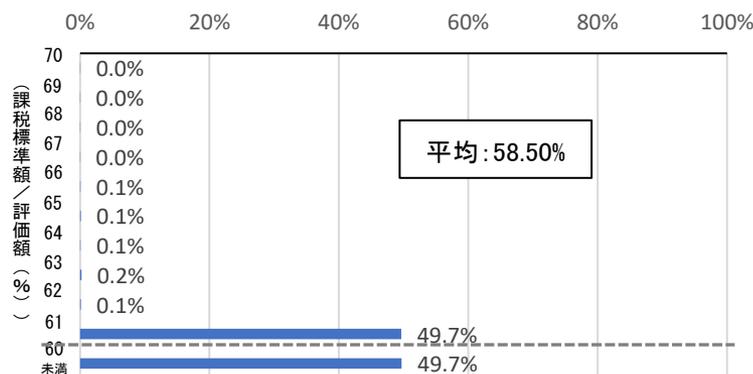
(60%未満の内訳)



文・台・豊
内周部



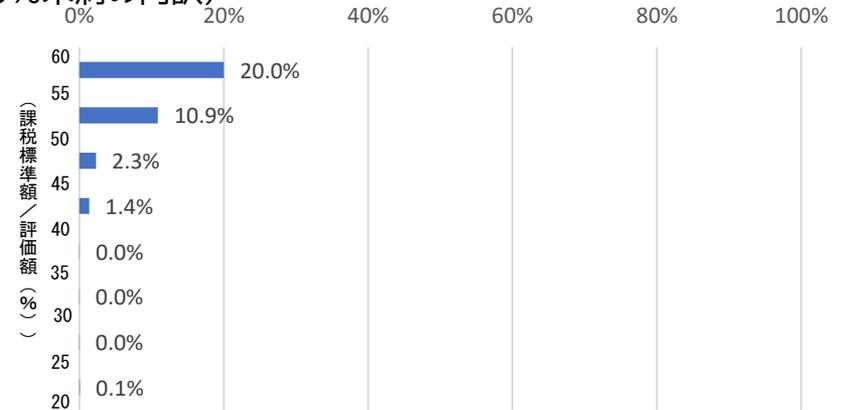
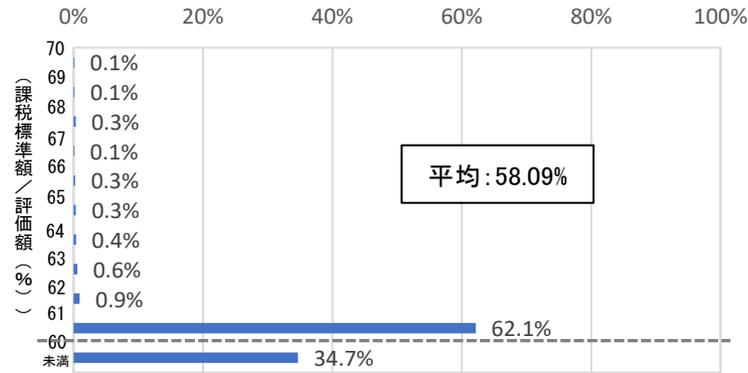
品・目・大
南部



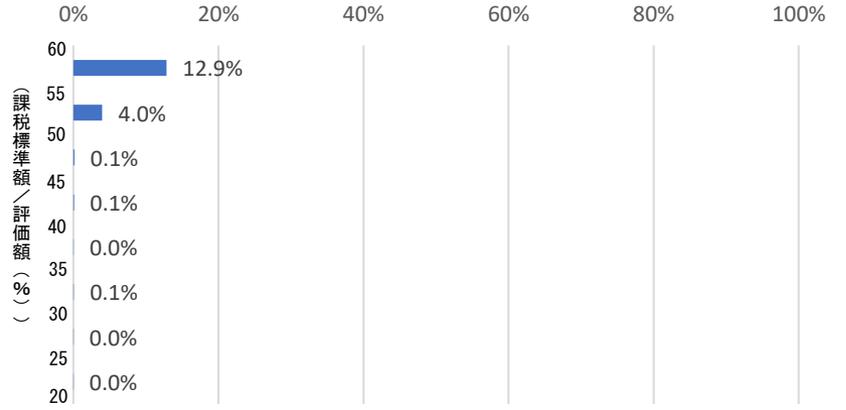
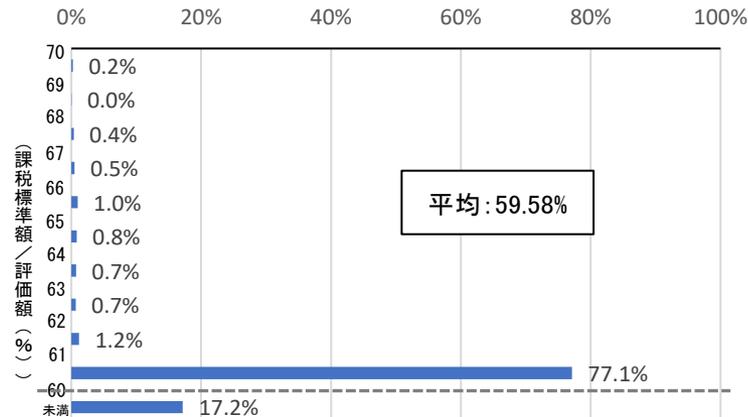
商業地等における負担水準の分布状況(令和6年度)②

(60%未満の内訳)

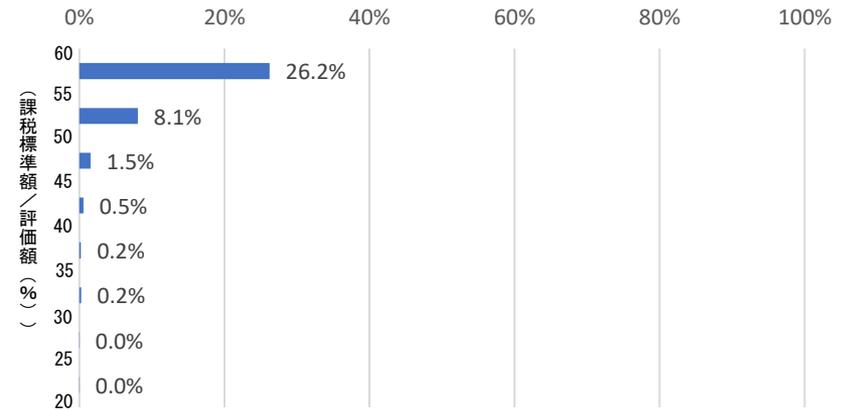
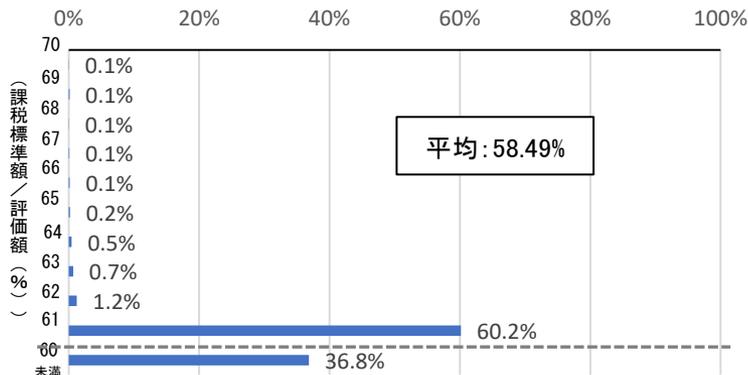
世・中・杉
西部



北・板・練
北部



荒・葛・江戸川
東部(墨・江東)



負担調整措置の見直しに関する意見

- 税負担の公平性の観点から、負担水準の均衡化は必要であると考ええる。
- 一方で、負担調整措置など、税負担の在り方を検討する際には、自治体ごとに異なる地価の状況や、税負担が増加する納税者への配慮も必要であると考ええる。